



用紙（紙媒体）の管理について、もう少し注意をしていただきたいとお話をさせていただいた病院が何箇所かあった状況です。

3. がん診療拠点病院強化事業費における会計検査院の調査について
  - ・がん診療拠点病院強化事業費について会計検査院の実地調査が5月上旬に3病院に対して行われました。
  - ・これについても、特に指摘事項等はありませんでした。
  - ・ただ、がんに関わることについての勤務実績や、支出実績などかなり細かな点について検査が行なわれていましたので、今後、各施設におかれましては現況報告書との整合性についても注意をしていただきたいと思います。
4. がん診療連携拠点病院の整備に関する指針の一部改正について
  - ・指針の一部改正が3月末に行なわれ、5月11日にQ&Aを発出したところです。
  - ・9月1日時点の現況報告に改正点の整備が間に合わない施設がありましたら、今週中に健康増進課保健事業係までご連絡下さい。
  - ・県で取りまとめて国のがん対策推進室に相談したいと思います。まずは今週中に連絡をお願いします。
5. 地域がん登録について  
(資料にて説明)
  - 1) 福岡県がん検診評価点検事業推進検討会の役割
    - ・福岡県では、平成10年に一旦地域がん登録を終了しておりました。
    - ・今回、再構築を行ない福岡県として地域がん登録を実施させていただくことといたしました。
    - ・県の事業としては、がん検診評価点検事業ということで、地域がん登録だけを行なうのではなく、地域がん登録をした上で、今後がん検診や医療情報等を活用しながら、将来的にはがん検診の受診率向上、がんの死亡率の減少という目標に向かって事業を進めていきたいと思っています。
    - ・今年度については、地域がん登録部分の充実を図りたいと考えております。
    - ・6月3日に第一回目の福岡県がん検診評価点検事業推進検討会を開催させていただきました。
    - ・会長は松田（福岡県医師会長）で、副会長は平田（福岡県保健環境研究所長）と決定し、がん検診評価点検事業全体のお話と、地域がん登録のことについて検討させていただいたところです。
  - 2) 福岡県がん対策推進計画に基づく関係機関との連携及び推進体制
    - ・福岡県がん検診評価点検事業推進検討会は、「福岡県がん対策推進協議会（県主催の組織）」と「福岡県がん診療連携協議会（拠点病院や関係機関の組織）」双方と連携を保ちながら、地域がん登録体制の基盤の整備、将来的な検診の評価に対する意見や検討を行いながら、がん対策全般の推進を図っていきたいと考えております。
    - ・検討会の下部組織としてワーキンググループを立ち上げていきます。今週末に現場の皆様が集まって頂いて、より現実的ながん登録開始に向けたワーキンググループの話合いを行なっていくこととしています。
  - 3) 福岡県地域がん登録の体制図（案）について
    - ・先日開催した検討会で体制図（案）について説明させていただきました。
    - ・福岡県（健康増進課）は事業の統括を行ない、登録室については、2か所設けました。
    - ・1か所が「保健環境研究所」であり、届出表の点検、分析等の役割を担っていただきます。がん診療拠点病院はこちらに届出表を提出して頂きます。
    - ・拠点病院以外の医療機関については、届出表は医師会を経由して、医師会で取りまとめて頂き「保健環境研究所」へ提出して頂きます。
    - ・もう一か所が「メディカルセンター（県医師会館内）」であり、がん登録システムへの実際の登録全般を行ないます。
    - ・九州大学病院と九州がんセンターには、県内の地域がん登録に関わる方への研修などの講師として協力をお願いしています。
  - 4) がん登録に係る届出表について
    - ・がん登録においては、国立がん研究センターが標準登録システムを開発しており、独自のシステムで運用していた県も、順次このシステムへの移行を進めており、各県がこのシステムを使用して登録を行っています。
    - ・福岡県は最初からこのシステムによる登録を行なう予定であり、現在、国立がん研究センターと詰めの作業を行っています。
    - ・このシステムへの登録とした場合、登録内容は今回の届出票（資料）となりま

	<p>す。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今後の登録に関する詳細な部分につきましては、現場の声を確認した上で7月の終わり頃までに決定していきたいと思っています。</li> <li>・その結果を踏まえて、医療機関を対象に説明会を8月に開催する予定です。</li> </ul>
田川病院（田中）	<p>来年の4月のDPC係数に反映されるためには、いつまでにかん登録を行う体制を整える必要がありますか。</p>
福岡県（中原）	<p>①福岡県が地域がん登録を行える体制を有していること。②病院がDPC係数関連の届出を10月に出す段階で、地域がん登録の届出票を提出した実績があることが要件となります。</p> <p>ただ、診療報酬の改定等が来年4月にあった場合、要件の変更等があるかもしれません。</p>
田川病院（田中）	<p>福岡県としては、10月1日の時点で地域がん登録を実施できる体制は整えることは大丈夫でしょうか。</p>
福岡県（中原）	<p>現在、その期限に間に合わせるために準備を進めております。</p>
九州医療センター（蓮尾）	<p>具体的な日程や、がん登録を行うデータの期間等について説明をお願いします。</p>
福岡県（中原）	<p>現在、各拠点病院のがん登録室の視察を行ないながら、各病院の状況（収集状況や登録の状況）を確認しております。来週には確認作業が終わりますので、その時点でいつ頃のデータから始めるのかなどについて、各病院のご意見などを踏まえて、ワーキンググループで検討を行ない、皆様方に周知したいと思います。</p>
九州医療センター（蓮尾）	<p>県がいつから始めるか、いつのデータで登録を行うのかを、早急に伝えて頂きたいと思います。7～8月には文書等での周知をお願いします。</p>
九州がんセンター（院長）	<p>早めに開始の時期などについて周知をお願いします。</p>
九州大学病院（水元）	<p><b>②研修・教育専門部会</b></p> <p>1. 研修・教育専門部会 新名簿 （福岡県がん診療連携協議会 研修・教育専門部会の委員名簿にて現在の委員を説明）</p> <p>2. 平成23年度研修会等の開催予定 （平成23年度研修会開催予定について資料にて説明）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆九州大学病院がんセミナー（年5回）</li> <li>◆福岡県コメディカルがん医療研修会（年3回）</li> <li>◆福岡県院内がん登録研修会（年4回）</li> <li>◆福岡県がん診療連携協議会 MSW研修会（年2回）</li> <li>◆第4回 九州大学病院 医師に対する緩和ケア研修会（年1回）</li> </ul> <p>患者向けの研修会としまして</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆市民公開講座（年1回）</li> <li>◆膝がん勉強会（月1回）</li> <li>◆九州大学病院がんセンタークローバー会（月2回）</li> </ul> <p>を計画しております。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「原発事故による放射線被ばく：放射線科医の立場から考える」「福島県いわき市における“心のケア”活動」という内容でオープンにした形で九州大学病院セミナーを5月11日に開催いたしました。</li> <li>・これまで行なってきた研修会につきまして、動画配信を行っております。資料もダウンロード出来るようになっております。是非ご活用いただければと思います。</li> <li>・緩和ケア研修会の開催日程について 緩和ケアの関係で今年度報告分については8月末までに研修を受講しておく必要があります。</li> </ul> <p>（県内拠点病院の開催日程を資料にて説明）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・九州大学病院がん化学療法薬連携セミナー 当院薬剤部、福岡市薬剤師会との共催で薬剤師200名を対象としたセミナーを予定しています。（資料にて説明）</li> </ul>

	<p>3. 今後の医師に対する緩和ケア研修会の運営について</p> <p>1～2) 23年3月14日(月)、5月16日(月)の開催された研修・教育専門部会の議事録について(資料「議事録」について要点を説明)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県医師会から単位型の要望があり議論を行い現在に至っております。</li> <li>・広報は県や県医師会でも行って頂けることとなりました。</li> <li>・修了証書は県が取りまとめて行って頂けることとなりました。</li> <li>・資料の統一、プログラムの統一についても議論を行いました。</li> <li>・ファシリテーターについては、参加者6名につき1名を確保することを目標にすることとなりました。</li> <li>・謝金については、施設でばらつきがあるため、調査を行い各施設で検討して頂くこととなった。</li> <li>・調査の結果、ファシリテーターで勤務すれば一日あたり各施設5万円前後であり、ほぼ同じ結果でした。近日中に資料をお配りする予定です。</li> </ul> <p>3) 単位型研修会の修了証書の発行手順について(資料にて説明)</p> <p>4) 緩和ケア研修会プログラム 緩和ケア研修会進行表(土曜日午後、日曜日開催を想定したプログラム)により説明</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・90分一単位の構成であり、1日目が3.5単位、2日目が4.5単位の合計8単位で統一したプログラムで実施することを決定しました。</li> </ul> <p>5) 緩和ケア研修会開催日程(来年度) (平成23年11月～平成24年8月31日までの緩和ケア研修会の日程について資料により説明)</p>
福岡県(中原)	<p>○福岡県単位型緩和ケア研修会実施要領(案)について(資料にて説明)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・プログラムについては、県下統一とする</li> <li>・2日間を想定しA過程B過程があり、A過程終了後にB過程を受講するながら</li> <li>・連続して受講することが望ましいが、止むをえない場合は、同一期限内(23年11月～24年8月)内であれば分割した受講も認める。</li> <li>・修了証書については県で発行する。</li> </ul>
九州大学病院(水元)	<p>4. その他</p> <p>○緩和ケアに関する情報共有について【情報提供】(資料により説明)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現在、当院に対して18の緩和ケア病棟から待機患者数などの情報を、毎週頂戴できるようになりました。この情報を県内の他のがん診療拠点病院に対しても公開しても構わないかとの問い合わせを行い、情報提供が出来ないかについて検討しており、ご意見を伺っているところです。</li> </ul>
九州がんセンター(竹山)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当院でも待機患者の調査を毎月確認しているが、情報が一元化されることは大変有難いことなので、是非お願いしたい。</li> </ul>
戸畑共立病院(谷脇)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・戸畑共立病院の緩和ケア研修会の日程ですが、平成24年6月16日(土)、17日(日)でしたが、平成24年6月2日(土)、3日(日)に変更いたします。</li> </ul>
九州がんセンター(藤)	<p>③地域連携・情報専門部会</p> <p>1. 「胃がん・大腸がんフォローアップパスの運用状況」調査について</p> <p>1) アンケートの集計結果について(アンケート結果の基づき報告説明)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・Q: カルテの準備は終了しましたか。 ⇒1施設を除き準備は終了している。</li> <li>・Q: 患者用パンフレットは利用できていますか。 ⇒3施設が利用出来ていない。</li> <li>・Q: 院内の説明会を実施しましたか。 ⇒2施設が未実施である。</li> <li>・パスの適応患者数(胃がん・大腸がん) ⇒胃がん28件、大腸がん22件であり、少しずつ件数が増加し、連携パスが動きだしている状況です。もう少し件数が増加してこなければ、問題点等も見え</li> </ul>

- てこないと思います。もうしばらく様子を伺っていきたいと思います。
- ・ Q : 九州厚生局への申請が終了したか  
⇒ 2施設がまだ申請を行っていない状況です。
  - ・ Q : データ収集に相談支援センターが関与していますか。  
⇒ 「いいえ」と回答された施設が1施設ありましたが、担当のスタッフに確認しましたが、相談支援センターが関与しなければならないことの認識はお持ちでした。まだパスの運用が始まっていないためであると思います。
- 2) 「私のカルテ」準備に関する問題点について  
(資料「かかりつけ医から指摘があった問題点」に基づき説明)
- ・ 医療連携機関の登録を早く県下共通にして欲しいとの意見があり、医師会の協力のもと、病床数が記載された5大がんの連携先医療機関リストがもう少しで作成出来ると思います。
  - ・ 協議会においても連携パスの啓発活動に努めておりますが、各ブロックリーダーの先生方におかれましても医師会への啓発活動などに努めていただければと思います。

2. 私のカルテ「乳がん連携パス【術後】」について  
(資料「医療者用、患者さん用のパス」により説明)
- ・ 乳がんについても胃がん・大腸がんと同様に私のカルテが出来上がりました。
  - ・ 肝がんについても、パス調整会議を終え印刷業者に原案の依頼を行っています。
  - ・ 肺がんについては、現在パス調整会議が始められており、間もなく原案が作成されると思います。
  - ・ これらの3つのがんのパスについて、原案を同時に福岡県がん対策推進協議会にて了承をいただき、正式にスタートさせていきたいと考えております。
  - ・ その頃には、県下一斉のリストが完成し、5大がんすべてのパスも完成し、がん診療連携拠点病院の整備指針となっている今年10月までに間に合うと思います。
  - ・ 今後は、胃がん・大腸がんのステージⅡのパスや、術後の補助化学療法のパスなどを手掛けていく必要があると思いますが、次のステップへのスタートを急ぎすぎて、患者や医療者へ周知を行わないまま進めるよりも、まずは、現行のパスに対して、しっかり啓発活動を行っていきたいと思います。

九州大学病院  
(水元)  
九州がんセンター(藤)

各パスについて拠点病院の担当者に調整が行われていますか。

まず、当院の疾患リーダー、4ブロックのリーダー、4ブロックの医師会代表で打合せを行い原案作成、その後各拠点病院の疾患担当者調整を行い、がん対策推進協議会で了承を行っております。各病院の担当者へも報告調整が行なわれています。(乳・肝・肺がんの九州がんセンター疾患リーダーからも上記の報告が行なわれる。)

3. 「がん患者のための歯科医療連携推進事業」について(案)
- ・ 福岡県医療指導課と福岡県歯科医師会の共同事業として、がん患者の口腔衛生状態の向上による口腔合併症等の予防とがん患者が安心して歯科治療を受けることができる医療体制の基盤整備を目的として、がん治療前後の歯科治療や口腔ケアを実施し、効果的なケア及び指導方法、地域医療連携ネットワーク構築について検討がおこなわれることとなりました。
  - ・ 九州大学等の歯科を備えた拠点病院以外でのモデル事業ということで、当院がモデル病院となりました。
  - ・ 今後、3年間における事業計画が策定され、連携体制についての様々な調査が実施される予定です。その結果については協議会の場で発表させていただきます。

4. その他

- 1) がん拠点病院にかかる指定要件の追加(一部見直し)について
- ・ 放射線・化学療法について副作用を伴う放射線療法・化学療法の研修(2次医療圏の施設に関して)が追加になりました。緩和ケア研修同様で各病院で2次医療圏の医療者に対する研修が必須となっておりますので注意いただきたいと思います。
- 2) 非拠点病院のパス運用について
- ・ 拠点病院以外の総合病院等でパスの運用を行いたい施設がありましたら、九州がんセンターのホームページに詳細についてアップを行っております。
  - ・ ご希望の施設には、CDを郵送するシステムで対応しております。(際限なくパ

九州がんセンター（西山）	<p>スを配布するのではなく、ルールに基づいてパスを普及させていくため）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・近隣施設で質問等がありましたら、ホームページをご覧頂くか、当院の相談支援センターにご連絡頂くようにお伝え下さい。</li> </ul> <p><b>④がん登録専門部会</b> がん登録専門部会の報告をさせていただきます。</p> <p>○第1回がん登録専門部会（平成23年5月23日、於：済生会福岡病院）の報告</p> <p>1. 院内がん登録における予後調査について （別紙資料にて説明）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・住民票照会する際の統一フォーマットを作成して欲しいとの要望が多かったため専門部会において、照会時の「案」を作成しました。こちらを、がん診療連携協議会に図りたいと思います。</li> <li>・住民票照会必須書類 <ul style="list-style-type: none"> <li>◆公文書（予後調査依頼書）</li> <li>◆公文書（理由書）</li> <li>◆公文書（写）（福岡県がん登録事業の実施について）</li> <li>◆公文書（写）（福岡県がん登録事業における予後調査について（依頼）</li> <li>◆病院案内（各施設の病院案内等）</li> <li>◆住民票照会者リスト</li> <li>◆申請担当者身分証明書（社員証及び運転免許証）</li> <li>◆返信封筒</li> </ul> </li> </ul> <p>をセットにして、各市町村へ発送することにしております。当議会においてご承認を頂ければと思います。ご意見等はありませんか。</p> <p>（特に意見なし）</p>
全員	<p>意見がありませんので、今回の提案について協議会として承認といたします。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今後拠点病院は、この書式を用いて各市町村へ予後調査を行っても構わないこととします。</li> <li>・予後調査に対して、患者の同意書がないと開示できないとの考えをお持ちの市町村が、現段階11市町村あります。</li> <li>・これらの市町村については、この書式ではなく、個別の対応となりますのでご注意ください。</li> <li>・福岡県よりこれらの市町村に対しては、福岡県として協力要請を行っていくことの話がありました。</li> <li>・がん登録専門部会としては、「同意書なし」「手数料無料」を目標に引き続き関係機関に対し訴えていきたいと思っております。</li> </ul> <p>2. 地域がん登録について （別紙資料にて説明）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・福岡県からは24年1月から開始するとの報告があったが、DPC係数を24年4月から取得できるように、地域がん登録届出表の収集を開始することを、福岡県に対して本専門部会より要望をおこないました。</li> <li>・県としては、来年1月からの症例が対象となるとのことでしたが、拠点病院の院内がん登録のデータは2009年までの精度管理が終了しているため、2008年から2009年までの症例提出が適切ではないかとの意見が出されました。</li> <li>・地域がん登録のデータがいつの分からの提出になるのかについて、早急に決定して頂くように強い要望が出されました。</li> <li>・届出の項目については、国がんの標準の項目を使用し、県独自の項目についての設定は行わない予定であるとのことでした。</li> <li>・地域がん登録への届出については、紙ベースでの提出となる。様式についてはホスキャナ（院内がん登録のアプリケーションのこと）より、自動作成されるものも使用可能と説明されました。</li> </ul>
九州大学病院（水元）	<p>登録の実際について国立がんセンターの柴田室長に確認したところ、拠点病院の地域がん登録は、国立がんセンターの精度管理が終了したもの集めているものが多いとのことでした。（専門部会で検討している2008年か2009年のデータが対象であるものが多い）、拠点病院以外の病院から提出されるデータについては、集めている年度が</p>

九州がんセンター（西山）	<p>異なっている。一般の開業医の先生方から出されるデータについては、患者さんを診察した後にリアルタイムで記入して報告されているようですとのことでした。</p> <p>専門部会としては、拠点病院も拠点病院以外の施設も地域がん登録を同時に始めたいと思っております。</p>
九州がんセンター（院長）	<p>3. お知らせ</p> <p>地域がん登録に関してお知らせですが、5月27日全がん協（全国がん（成人病）センター協議会）の理事会がありました。その中でがん登録の推進を図るため、各府省や関係機関に対して、人口動態統計調査や住民基本台帳の閲覧を可能にして欲しいとの提言を行うことについて話し合いがなされました。全がん協が取りまとめた提言書を出すこととなります。最終的に提出する提言の内容等が決定しましたら、皆様にお知らせいたします。</p> <p>また、7月25日に都道府県の拠点病院連絡協議会があります。その中で様々な内容について話し合いがなされると思いますので、皆様方に報告したいと思っております。</p>
九州がんセンター（藤）	<p>6) その他</p> <p>①平成23年度第2回福岡県がん診療連携協議会開催予定について</p> <p>第2回の福岡県がん診療連携協議会の開催につきましては、次回開催場所が北九州ブロックの担当となります。日時につきましては平成23年10月17日（月）を予定としております。北九州ブロックでは前回北九州市立医療センターで開催されましたので、九州厚生年金、戸畑共立、産業医大、の3施設の中で決定したいと思っております。協議会終了後に開催場所について決定したいと思っております。（協議会終了後に3施設で協議の結果、戸畑共立病院での開催となりました。）</p>
九州がんセンター（院長） 飯塚病院（油布）	<p>その他質問等はありませんか。</p> <p>先程、拠点病院の指定要件に加わった放射線科化学療法に関する研修については、緩和ケア研修のようなものなのか、具体的な研修プログラムなどが必要となりますか。</p>
九州がんセンター（藤）	<p>緩和ケア研修のようにプログラム等までは求められていません。2次医療圏の先生方向けに講演などの研修を行う必要があると思っております。</p>
九州医療センター（池尻）	<p>いつまでに研修を行う必要がありますか。昨年9月以降に実施した研修についてはどうなりますか。</p>
福岡県（堀）	<p>9月1日の現況報告までに開催しておく必要があります。3月末に指定要件に関する通知が発出されました。Q&amp;Aが5月11日に発出され（事務担当者へ送付済）それによると、8月末までに開催しておく必要があります。緩和ケア研修のカウントとは違いますので、今年度4月から8月迄の実績となります。詳細については、厚労省に確認してお答えします。指定要件について、ご相談がありましたら、県として取りまとめて厚労省に報告したいと思っております。</p>
九州がんセンター（院長）	<p>7) 閉会の挨拶</p> <p>これをもちまして平成23年度第1回福岡県がん診療連携協議会を閉会いたします。</p>
	<p>以上</p>